

4791 号

2010 年 11 月 8 日

伝書鳩

全国一般労組・全国協議会
安倍川襖紙労働組合
静岡市葵区田町 3-5-6
電話 054-271-7302
岩淵構内電話 340
abekawarouso@room.ne.jp

王子特殊紙の人事制度では 9 月に昇格

本人へ連絡未だなし

最近組合で、王子特殊紙の昇格について話題になりました。王子特殊紙の人事・賃金制度では 9 月に昇格がされるはずですが、事前面接など今年はその気配がありません。さらに給料明細にもそれらしいことが書かれていません。

会社 公正さは、面接で保証

王子特殊紙の人事・賃金制度は、王子特殊紙の発足より遅れ、2004 年の 8 月に特殊紙から組合に提案がありました。交渉の中で、安倍川労組は「公平さ」や「透明性」をどう保証するのかとたずねたところ、会社は「それは毎年の面接で行う。」と答えました。

年に一回の昇格が行われるわけですが、上がった人にも上がらなかった人にもその理由、たとえば「評価された点」「マイナス評価の原因」を本人に明らかにし、やる気があれば、だれでも昇格していくことができる制度であると自信をうかがわせました。



少なくとも岩淵では面接なし

さて、現実はどうでしょうか。

これまでも面接で質問や意見を言っても反映されたという話は聞いていませんが、今年にいたっては面接が行われた様子が少なくとも岩淵ではありません。

王子特殊紙の人事評価は職場の操業長などの行う予備評価のあと、三段階で評価が行われます。第一段階の課長などの管理職が採点した後、だんだん上にあがって「この課長は甘くつける」「この課長の点数は辛い」など、課のあいだ、さらには工場間の調整もして全社のバランスを取るというのですから、全体のデータがそろわなければ、作業ができないはず

です。問題のある制度というのは安倍川労組の見解ですが、さらに運用もしっかりしていません。

賃金明細にも記載なし

少なくとも 9 月・10 月の賃金明細に、新しい職級（昇給しなかったにしても）が記載されていません。職級と級の中での評価が本人に知らされなければ制度自身の信用がなくなります。

制度に直接つながる退職金についても「あなたは…級で、評価は…なので、今年は…ポイントが加算されます。昨年までが…ポイントなので、合計が…ポイントです。」と、通知がなければおかしいです。

上がったとき本人にだけ言う？

「本人に昇格したときに通知する。」だけでは、昇格のチャンスを奪っているのと同じです。



王子特殊紙の人事・賃金制度について、安倍川労組は「不透明」「公平さが担保されない」などとして合意していません。しかし制度としてはすでに6年ほどが経過しており、人事・賃金制度をもとに新しい退職金制度への移行が強行されています。

会社はまず「言った通りちゃんとやる」こと、そして、苦情処理の制度を作るなど、制度の改善を行うべきです。